

# 金山町

# 議会だより

第224号

令和6年2月8日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341

〔12月定例会 会期12月22日～26日〕

- ・議長新年のあいさつ ..... 2
- ・補正予算議案審議等 ..... 3～4
- ・一般質問に5人登壇 ..... 5～9



新春を迎えたJR只見線会津川口駅



金山町議会議員集合写真(左手前：五ノ井議長、右手中央：横田副議長)

## 新年を迎えて

町民の皆様には、日頃から町議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。遅れ馳せながらではありますが、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

まずは、1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。一日でも早く日常の生活に戻られることを心より願うばかりです。

一昨年10月にJR只見線、会津川口駅―只見駅間が再開通となりました。只見線ブームは続いております。マスコミ報道や地元写真家をはじめとする多くの方の情報発信等により只見線の魅力が県内外・国外に発信され多くの方が奥会津を訪れております。これからが重要です。交流・関係人口により地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。金山町の総合計画のキャッチフレーズは「自然の恵みと笑顔あふれるかねやま」思いやり支えあいのまち」です。笑顔で、自然を愛し、健康で生きがいのある生活で明るく一年にしていきましょう。

我々議員8名は、皆さまの代表として議員活動を行っております。町の課題は、人口減少、高齢化、人材不足などさまざま数多くあります。課題解決のため町民の皆様からのご意見・ご要望をお聞かせ頂ければと考えております。年4回の定例会へも足を運んでいただきたいと思っております。議員8名、力を結集して町の課題解決のため、全力で邁進してまいります。皆様にとりまして新しい年が夢と希望に満ちた素晴らしい年になりますように心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

(金山町議会議長 五ノ井義一)

# 12月定例会

12月定例会は、12月22日から26日にかけて開催され、一般会計補正予算、条例の改正、人事など14議案と議員提出議案4件が提案され原案の通り可決されました。一般質問は、新人議員1人を含む5人の議員により行われました。

## ・非課税世帯等臨時特別給付金 (問合せ先：保健福祉課福祉係)

(事業概要) 物価高対策(電気、ガス等光熱費の物価高騰に対し)で給付するもの。(国庫補助事業)

支援金対象者	給付内容	事業費
町民税非課税世帯	1世帯70,000円を給付 支給時期 2月中旬頃	3,010万円

## ・消費下支え商品券発行事業 (問合せ先：商工観光課)

(事業概要) 消費下支えと町民の生活支援で給付するもの。(町単独事業)

補助対象世帯	給付内容	事業費
町に住所を有する全世帯 (特養施設入居者、若桐寮入寮生は除く)	1世帯30,000円分の「妖精の里商品券」を支給 支給時期 1月下旬頃	2,780万円

## ●補正予算(議案審議)

### 一般会計・歳出

### 地域おこし協力隊経費

問 協力隊報酬651万円の減額。原因は。

答 企画課長 採用がなかった3名分の減額です。情報発信の方法や、移住相談会への受入れ側の参加がなかったことが反省点です。

問 今後の募集で、何か案がありますか。

答 企画課長 色々なアイデア、ご意見を取り入れ広くPRに努めて参ります。



委嘱を受けた  
田村淳隊員(左)、宮川和大隊員(右)



絵画体験活動中の大竹恵子隊員(右)

### 大芦線バス運行負担金について

問 負担金57万8千円の増。令和5年度負担総額と金山町の負担額は。

答 総務課長 会津バスによる川口・大芦間の運行負担金で、年間の経常収支2,268万9千円の赤字を金山町、昭和村で距離割、人口割により負担割合を決め町分35・6%で負担額は807万8千円です。県補助金が交付され、実質670万円程度の負担になります。

問 町財源の7割が依存財源であり事業の見直し

が必要と思うが。

答 総務課長 年間輸送人員が金山町分5千人を超えている状況ですので相応の負担をしながら是非継続して行きたい。

### 敬老会の在り方について

問 敬老会関連予算が減額。今年の敬老会の中身は。

答 保健福祉課長 コロナ感染症のこともあり、アルコール、折詰めは出さず、飲み物と簡単なお土産を準備しました。余興を行い午前中で終了し

ました。

問 今後の在り方について考えは。

答 保健福祉課長 参加者、民生委員等の意見を伺いながら、楽しんでいただける中身、お土産などについて十分検討しながら進めて参ります。



余興での歌謡ショー

## ■請願と陳情の採択

◇「大塩温泉源泉維持対策への補助金支援」を求める請願

大塩温泉組合長 馬場清次

◇「野尻川やな漁分のアユ放流補助金」を求める陳情

野尻川非出資漁業協同組合

代表理事組合長 渡部節雄

金山町観光物産協会

会長 栗城和夫

# 議案等審議結果一覧 (一部を掲載しました。全議案全員賛成でした。)

※議長は、採決に加わりません(賛否が同数の場合には議長が採決します)  
 ※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	大竹一樹	加藤賢享	安藤雅朗	加藤夕子	坂内讓	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一	
■第9回定例会(12月定例会) 令和5年12月22日～26日開催										
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (令和6年1月からの議会議員の報酬改定に準じ改正。)(令和6年4月1日より施行) (区分の一部を掲載)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	
	(区分)		(現在)		(改正後)					
	教育委員会委員		(年額) 152,000円		→ 180,000円					
	農業委員会長		(年額) 171,000円		→ 202,000円					
	選挙管理委員会委員長		(年額) 120,000円		→ 142,000円					
	各種委員会委員長		(日額) 6,200円		→ 7,300円					
各種委員会委員		(日額) 5,900円		→ 7,000円とする						
職員の給与に関する条例等の一部改正について (福島県人事委員会の勧告に基づき、期末手当及び勤勉手当を引上げ(0.10月分)など)	可決	○	○	○	○	○	○	○		
令和5年度金山町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○		
金山町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意について	同意	無記名投票により採決 (賛成7票・反対0票)								



**意見書の提出**  
 議員提出議案として提出し可決されました。  
 ●健康保険証廃止の中止を求める意見書  
 ●国民の命と健康を守るため、政府の責任ですべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書

**人事**  
 ◆金山町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。  
 長谷川 金助  
 (川口・69歳)  
 任期は6年3月16日から3年間。

## 議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ

金山町議会では、「開かれた議会」「身近な議会」を目指した議会改革の中で、議会会議録の町公式ホームページへ掲載、本会議での議員の一般質問の動画配信(録画)をはじめました。是非、ご覧ください。



↑会議録はこちらから



↑動画配信はこちらから

### 議会会議録について

議会日よりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。ホームページには全文記載されていますので是非、ご覧ください。  
 (金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#) [金山町議会>](#) [目次](#) [議会会議録](#) [令和5年議会会議録](#)

### 一般質問の動画配信(録画)について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。  
 (金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#) [金山町議会>](#) [目次](#) [議会動画配信](#) [令和5年一般質問](#)

# 大竹一樹議員の 一般質問



## 外部組織と連携した関係人口の創出について

### 大学生など若い世代を中心に進めていくー町長

近年、外部の企業や大学等と協定を結び、地域課題の解決に取り組む自治体が目立ちます。金山町も様々な外部組織との連携を行っていると思います。町外からの視点を取り入れることは、課題の解決を速やかにし、活性化をもたらすのに非常に有効であると考えます。

問① これまで町ではどのような企業や大学等の外部組織と連携し、どの

ような取り組みを行ってききましたか。また、継続して行われているものはありますか。

答 町長 外部の企業や大学などと連携した取組みとして、近年では、令和元年度に、日本郵便(株)と地域活性化や住民サービス向上などを目的とした協定を、令和4年度に、(株)モンベルとアウトドア活動等の促進を通じた地域の活性化と町民生活の質の向上を目的とした協定を、生活協同組合コープあいづと高齢者等が安心して自立した生活を営めるよう支援することを目的とした協定を、令和5年度に、ヤフー(株)と災害に係る情報発信等に関する協定を締結しております。

問② 今後、このように外部組織と連携し行う予定の事業はありますか。特に大学との連携があれば教えてください。

答 町長 制度的に色々ございます。事業課題等にアドバイスの必要があれば積極的に活用していく考えです。

や赤カボチャ栽培などの農業体験を実施する事業を、明治大学とは、学生が町内にファームステイして、農家と一緒に農作業をする事業を行っております。

また、本年度1年間の取組みですが、東京大学が実施する「東京大学フィールドスタディ事業」に採択され、学生が只見線の利活用について現地調査を含めた調査・研究を行い、令和6年2月に成果報告を行う予定です。

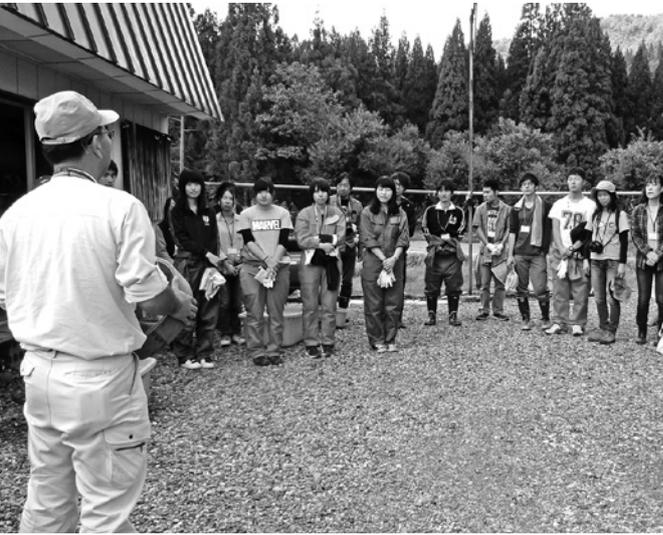
そのほか、小・中学生及び川口高校生を対象とした「夏休み学習塾」に大学生を派遣してもらう事業を実施しています。

問 大学生に町を知ってもらうには、農家民泊や地元の家泊まることにより、町のことを深く知ることができると考えています。大人数であっても民泊などを増やすことで分散宿泊も可能と考え

ています。町内の宿泊施設は不足しているとの認識を持っています。今、内部で既存事業者への支援、新規起業者への支援制度の立ち上げを検討しています。

問 今後、外部組織と連携し合う事業を行う際、総務省地域力創造アドバイザー、地域活性化企業人、地域おこし協力隊などの様々な事業を活用する考えはありますか。

答 町長 制度的に色々ございます。事業課題等にアドバイスの必要があれば積極的に活用していく考えです。



福島大学食農類の学外研修による  
エゴマ栽培農業体験  
年4回実施されています(上横田地区)

大学に関しては、新潟大学と、町の歴史や文化を伝える「村の肖像プロジェクト」などを、福島大学とは、学生がエゴマ

町の自然を生かした観光ツアアの発掘などの協働開発についての考えは。

答 町長 この地域の自然環境を満喫してもらう

も継続して実施していく考えです。関係人口が増えることで、地域の課題解決や地域経済の活性化に繋がると言われています。町は、人口減少や高齢化によって、地域づくりの担い手となる人材や、各種事業の後継者が不足していることから、今後も地域外の大学生などの若い世代を中心とした、関係人口増加に資する取組みを続けていく必要があると考えています。



## 安藤雅朗議員の 一般質問

# 令和6年度当初予算編成について

## 重点施策を優先的に――町長

**問①** 当町を取り巻く財政環境と今後の見通しについてどう認識されているか。

**答 町長** 令和4年度の決算では、財政健全化法に基づく各種財政指標は、早期健全化基準を大きく下回っており、概ね健全な財政状況と言える内容となっております。



令和6年度町総合計画実施計画  
(サニタリーハウス改修等)に計上の沼沢湖周辺施設

税、国・県支出金、地方譲与税及び地方債であり、いわゆる依存財源が歳入全体の7割を占めており、

国の動向によつては、町の財政状況に大きく影響を及ぼすことも、十分に認識しておかなければなりません。

また、町税は、ここ数年増加傾向にあります。その要因は、大規模償却資産に係る固定資産税の増加によるものであり、

今後の設備投資の状況によつては、減少に転ずるものと推測されます。

このような状況の中で、物価高騰が継続しており、社会保障関係経費や公共施設・インフラにおける老朽化対策などの費用負担も年々増加していく見込みであります。一方、住民生活に身近な行政サービスは、安定的・持続的に提供していかねばなりませんので、今後各種事業の見直しや財

源の確保を図りながら、持続可能な財政運営に十分配慮する必要があります。のと考えております。

**問** 今、町では只見線を起点とし、関係・交流人口の創出により地域を活性化するプロジェクトとして企業版ふるさと納税を募集していると思つたが、その状況は。

**答 企画課長** 現時点で企業版ふるさと納税はありません。

**答 町長** 町と関わりが深い事業所が県に寄付をしている実態もあり、機会あるごとに声かけをしていきます。

**問②** 新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に分類され初めての当初予算編成となるが、どういった点に留意し予算編成に臨むのか。

**答 町長** 5類へ移行したことにより、基本的に

はインフルエンザと同様の扱いになり、各種事業については、可能な限り、コロナ禍前の事業展開が図れるよう計画し、予算編成したいと考えておりますが、感染症が完全な終息に至つた訳ではないので、感染防止対策等を講じながら実施せざるを得ない事業もあるものと捉えております。

**問③** 令和6年度予算編成の基本方針及び重点施策は何か。

**答 町長** 基本方針として、社会情勢の変化や物価高騰に直面するなどの厳しい状況にあつても、将来を見据えた行政課題に適切に対応していくため、町総合計画の推進に向け、実施計画に基づく諸施策の実施を念頭に、予算要求するよう各課等へ指示しております。

産業振興と雇用拡大、移住・定住・交流、子育て

て応援、健康づくりと支えあいに関する事業を、重点施策として優先的に予算化して参りたいと考えております。

また、学校統合に向けての条件整備や学校跡地の利用なども、新たな行政課題として、重点的に取り組んでいく必要があります。

**問** 令和6年度予算で達成させたいこと、一番やりたいこと、取り組みたいことは。

**答 町長** 物価高騰対策、移住定住、若者世代への支援などを含んだ上での、現在住んでいる住民の安全安心な町づくりを尽きることと思つています。



# 只見線の運行と観光振興について

## 消費喚起で経済効果をー町長



只見線の再開通から1年が経ちましたが、いまだに只見線のブームが続いているような今年の秋でした。今では福島県の観光の目玉は「只見線と霧幻峡」と言われるまでになってきました。現状を含め、今後の只見線運行と観光振興について伺います。

問① 川口駅無人化による影響や今後の対策は。

答 町長 会津川口駅は、

本年11月末で信号係員が引き揚げとなり、12月から月に3日程度、短時間JR東日本から、職員が派遣される状況で実質的に無人駅となっております。

制を構築したいと考えています。また、発券窓口がある事務室スペースの活用についても、JR東日本と協議を行って参ります。

この影響ですが、観光客や町内利用者から切符購入についての問い合わせや、ワンマン運行でお釣りが無いように運賃を用意する不慣れなどのお話、観光情報センターなどに寄せられています。

問② 海外から訪れる観光客への動向調査について。

答 町長 現在、インバウンド関連の調査については、観光物産協会が実施している、会津川口駅構内での国別来訪調査や、霧幻峡の渡しで調査している、訪日外国人調査に限定されています。JR只見線をはじめとする風景は、海外からも注目を集め、当町を訪れる外国人旅行者も増加しています。来町して頂いた方のリピート率を上げるためには、旅行者のニーズを把握することが不可欠です。

な調査になるか協議して参ります。

問③ 只見線利用の観光客の二次交通等について。

答 町長 令和2年度からレンタサイクル事業、令和4年度から、観光タクシー事業、観光物産協会においてレンタカー事業を、ほかには今年度から只見川電源流域振興協議会によるカーシェアリング導入実証事業を実施しています。それぞれ利用者が増加していることから、二次交通として一定の機能を果たし始めていると思われま

しを豊かにすること、町の活性化であります。観光に訪れた人々の消費を促し、経済効果をより高めることです。

そのために、宿泊施設、飲食を提供する施設、お土産等の販売所、各種体験メニューの充実などが必要となってきます。併せて、観光施設の磨き上げと二次交通を整備することで、滞在時間が延長し、より消費が喚起され経済効果を上げることにつながるものと考えています。

問 霧幻峡の渡しに今年度は6,500人程度の利用者、うち外国人が900人程度、その内9割程度が台湾の方のようでした。観光の目標値は。

答 町長 目標は、観光振興を通じて町民の暮らしを豊かにすること、町の活性化であります。観光に訪れた人々の消費を促し、経済効果をより高めることです。

問④ 金山町の観光目標は。

答 町長 目標は、観光振興を通じて町民の暮らしを豊かにすること、町の活性化であります。観光に訪れた人々の消費を促し、経済効果をより高めることです。

実質無人駅となった会津川口駅 JR窓口事務室の有効利用が待たれます





## 栗城康太郎議員の 一般質問

# 雇用の創出と若者定住につながる町づくりの推進について

## 有望な資源を活用する——町長

問① 温泉資源の利活用について。

「せせらぎ荘」の『大黒湯』は全国に点在する温泉にわずか0.6%しか存在しない、高濃度の遊離二酸化炭素を含む『療養炭酸泉』であり、その希少性や、町が行っている天然炭酸温泉のPR効果もあり、県内外からも多くの観光客が訪れています。現在、「せせらぎ荘」に掲示してある温

泉分析書は平成26年1月10日付けの間もなく更新時期(10年)を迎えます。『療養炭酸泉(含二酸化炭素泉)』を謳うためには、

温泉水1kgに対して遊離二酸化炭素が1,000mg以上含有していることが必要です。令和元年の調査では1,000mg以下でした。現状のままでは天然炭酸温泉と謳うことができなくなり、これまでのPRも水泡と帰す恐れがあります。町はこの状況をどのように認識し、どのような対策を講じようとしていますか。

答 町長 『大黒湯』については、せせらぎ荘オープン時から、全国の数ある温泉の中でも特に貴重な天然炭酸温泉として、パンフレットに掲載しPRをしてきたところです。令和元年度の調査時は、確かに数値が下がっていますが、これは、野尻川の水量変化の影響を一時

的に受けたためではないかと推察しています。町としても、今後の観光振興にとって大きな痛手となってしまうと考えております。

更新に当たっては、細心の注意を払い、分析結果によっては複数回の検査を実施して数値の確認を行い、状況によっては専門家などに相談するなど、対応策を探っていきたいと思います。

問② 大塩地区の温泉開発と経済の活性化について。

答 町長 新たな炭酸温泉の開発は、只見線が再開通した今、誘客の切り札、横田地域活性化の貴重な資源となり得る可能性が非常に大きいと考えられますが、その可能性についてもうすこし研究する必要がありますと考えます。

平成27年度の『金山町炭酸泉活用基礎調査』の分析結果から、大塩地区で遊離二酸化炭素を1,000mg以上含有する高濃度の炭酸泉が湧出する可能性が極めて高いことが分かり、平成28年9月定例会に温泉試掘の補正予算が上程されたが、諸般の事情により否決され

そこで、前回の調査で実施できなかった大塩温泉の源泉、只見川に沈んだ源泉についての調査を、来年度行いたいと考えております。

問 調査の方法は。

答 副町長 東北電力と協議し、河川の水位を下げ以前の湯船の源泉の湧出量、炭酸含有量を調査したいと考えています。一説によると3,000mg以上の炭酸含有量があると言われております。

問 炭酸温泉として非常に有名な大分県の長湯温泉が1,400mg程度です。場合によっては全国で5本の指に入るくらい炭酸濃度の温泉になるかもしれないし、町の運命を変えるような大きな事業になるかもしれない。

答 町長 差別化を図って、地域振興に役立てていきたい。



県内外からも多くの方が訪れる  
町温泉保養施設「せせらぎ荘」(玉梨地区)

町長 差別化を図って、地域振興に役立てていきたい。

町長 差別化を図って、地域振興に役立てていきたい。





# 移住定住対策、金山町空家等対策計画について

一定の機能を果たしているー町長

問① これまでHPに記載された物件数、移住者数、入居戸数、取り壊し戸数は。

答 町長 町の空き家バンクは、平成29年度開始でこれまでに53件の物件を登録しました。移住者数は、会津地方振興局が調査し報告を行っており、町の直近3年間の合計は、世帯数が33世帯、人数が54人です。空き家バンクを利用しての入居戸数は

19戸です。空き家の取り壊し件数は、町で空き家解体補助を行った件数が直近3年間で18件です。

問② 「金山町空家バンク」を通じて発信するこ

とにより、次代のまちづくりを担う人々の移住・定住を推進します。とありますが問題点も出てきた事と思います。不動産の売却希望者と移住定住者をマッチングさせるサ

ービスと受け取っていませんが、機能していますか。

答 町長 空き家バンクは、空き家の有効活用を通じ、移住・定住の促進による地域活性化を図ることを目的として開始し

## 只見線について

利便性向上に繋がる要望を行うー町長

問① 海外の方はこれからの雪景色を楽しみに来られることはわかりきったことですが、昨シーズ

ます。また、三島町と一緒にJR東日本東北本部を訪問し、本部長に直接、

7月に公表した、只見線の22年度の平均通過人員

を目指して取り組んで参ります。

ンも運休が多く、宿のキャンセルやツアーのキャンセルなどの実害も出ています。3月のダイヤ改正でも運行本数は増えないことが分かりました。どう訴えていきますか。

除雪体制の充実・強化やダイヤの増便などの要望を行いました。現時点ではダイヤの増便などは実現しておりませんが、只見線沿線広域に渡る問題ですので、県や関係自治

（1キロあたり1日の平均乗客数）は、会津川口ー只見間で79人だった。不通になる前の10年度の49人から1.6倍に増えた。この数字に納得していますか。少ない数字にはカラクリがありません。只見線管理事務所と連携し、確かな数字を出したいのですが、対応して頂けますか。

また、平均通過人員については、JR東日本が乗車券等の販売枚数から算出している数字と理解しております。乗車人数の把握については、その方法なども含め福島県と協議したいと思えます。

答 町長 只見線の充実・強化などについては、福島県鉄道活性化対策協議会や会津総合開発協議会などを通じて、JR東日本などに要望をしております。

問② 再開通から1年が経ち、JR東日本が今年

答 町長 まずは、第2期只見線活用計画で掲げられた目標値100人

加藤議員からは、この他に「燃料高騰、物価高」に対する町の支援策は「



JR只見線撮影ポイントの  
かねやまふれあい広場(大志地区)



## 窓 思うこと

新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行し、久しぶりの行動制限の無いお正月となりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしたでしょうか。  
令和6年が皆様にとって、健やかで幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今回の窓は、私の趣味についてお話ししようと思います。

ソロキャンプを始めたのは、沼沢湖キャンプ場で見た光景。キャンプって楽しそうかも。そこに訪れた新型コロナウイルス対策による行動制限がきっかけでした。町から出ずに楽しめる事。最初は、テント設営や料理など、何もかもが手探りでしたが、慣れていくうちに、キャンプの魅力にどんどんハマっていききました。ソロキャンプは自分のペースで楽しむことができるので、とてもリフレッシュできます。全ての作業を一人で行うことで、自分の成長を感じることがができます。さらに、キャンプは、さまざまな土地へ赴き、他キャンパーとの出会いの場にもなります。キャンプ場で出会った人々との交流の中で、沼沢湖キャンプ場もこうだったらと、新しい発見や気づきを得ることもできます。このキャンプ道具って防災グッズにもなるのねと。それから是非常食になる物、簡易トイレ等も揃えるように。

年明けとともに大変な災害が起こってしまいました。2か月前にキャンプに行った能登が壊滅状態に。災害はいつどこで起こってもおかしくない。豪雨災害を経験したこの町もまた何が起こるか分からない思いは捨ててはいけません。山間部は支援物資も届きにくい等、自助、共助の大切さを改めて考えさせられます。話がそれましたが、先の議会議員選挙により新体制となりました。これから、皆様とともに、より良い町づくり、災害に強い町づくりをしていきたいと思っています。

あらためて、よろしくお願ひ申し上げます。

(加藤夕子)

## 令和6年新春交歓会

1月5日、開発センターで開催され、各行政区長、各団体の代表者、町議会議員など54名が出席しました。

押部源二郎町長、五ノ井義一議長、菅家一郎衆議院議員、山内長豊議会議員から年頭のあいさつをいただき、全員による乾杯で新春をお祝いしました。



町区長協議会会長(川口区長)菅家儀一さんによる乾杯

## ごあんない

次回の定例会は、3月8日頃開会予定です。

一般質問は3月11日頃となります。

「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り  
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井義一

〔編集委員〕

委員長 横田 正敏

副委員長 安藤 雅朗

委員 坂内 一樹

委員 大竹 一樹

次回、金山町議会だより第225号は、5月上旬頃発行予定です。